

多様化するメタデータの共通基盤へ 走り出したメタデータ流通ガイドライン

メタデータ流通を支える コミュニケーションツール

多様化するメタデータ



2012年

2023年

メタデータ

約7,000万件

約1.3億件

資料種別

紙約6,000万件
デジタル約900万件

紙約8,000万件
デジタル約2,000万件

デジタルの内訳：当館デジタル化資料約80万件、
インターネット資料約9万件

デジタルの内訳：当館デジタル約270万件、
電子書籍・電子雑誌約100万件

連携方法

API約20DB：**手動**約30DB

API約50DB：**手動**約40DB

連携形式

DC-NDL、RSS、TSV他

DC-NDL、TSV、JPCOAR他

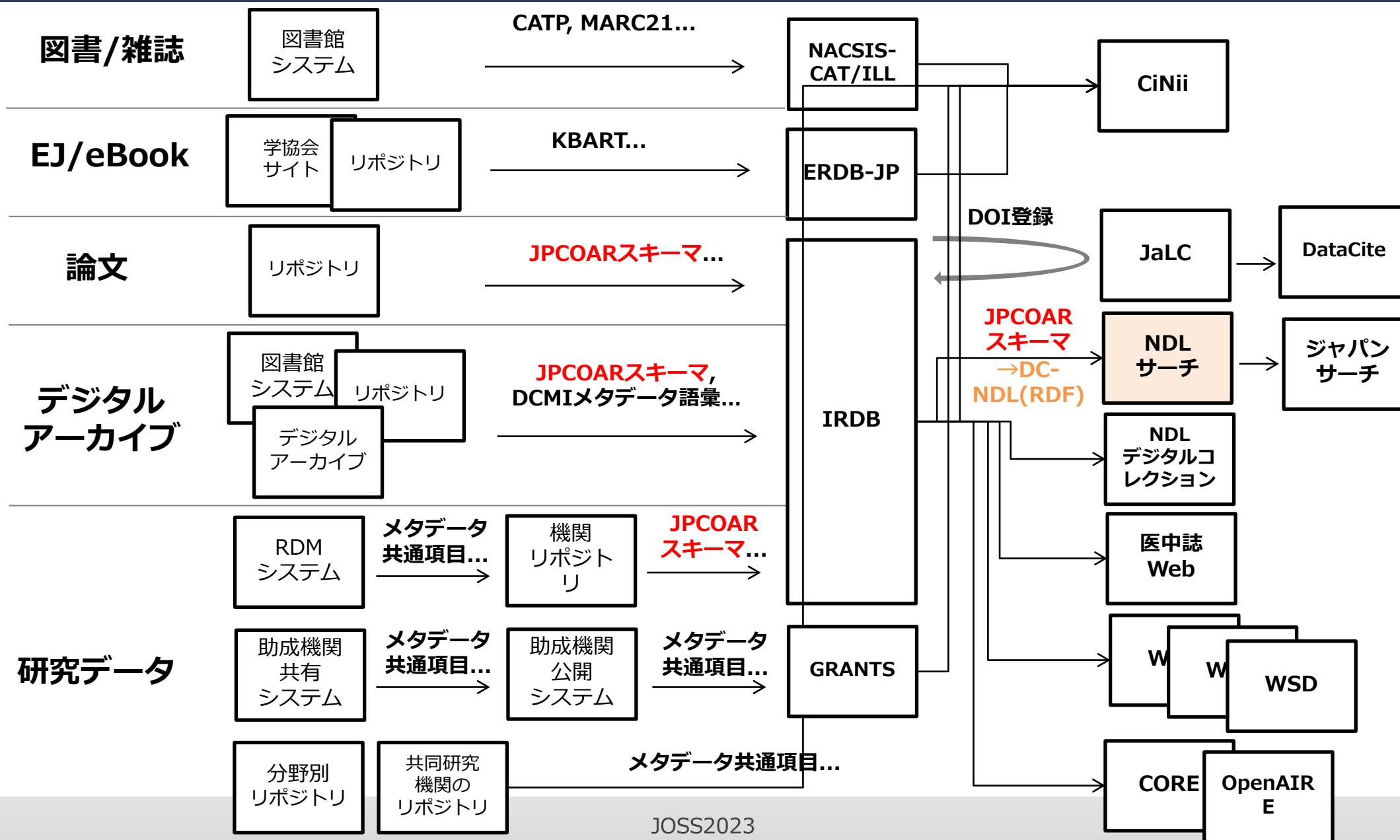
連携数の多いフォーマットを上位から表示

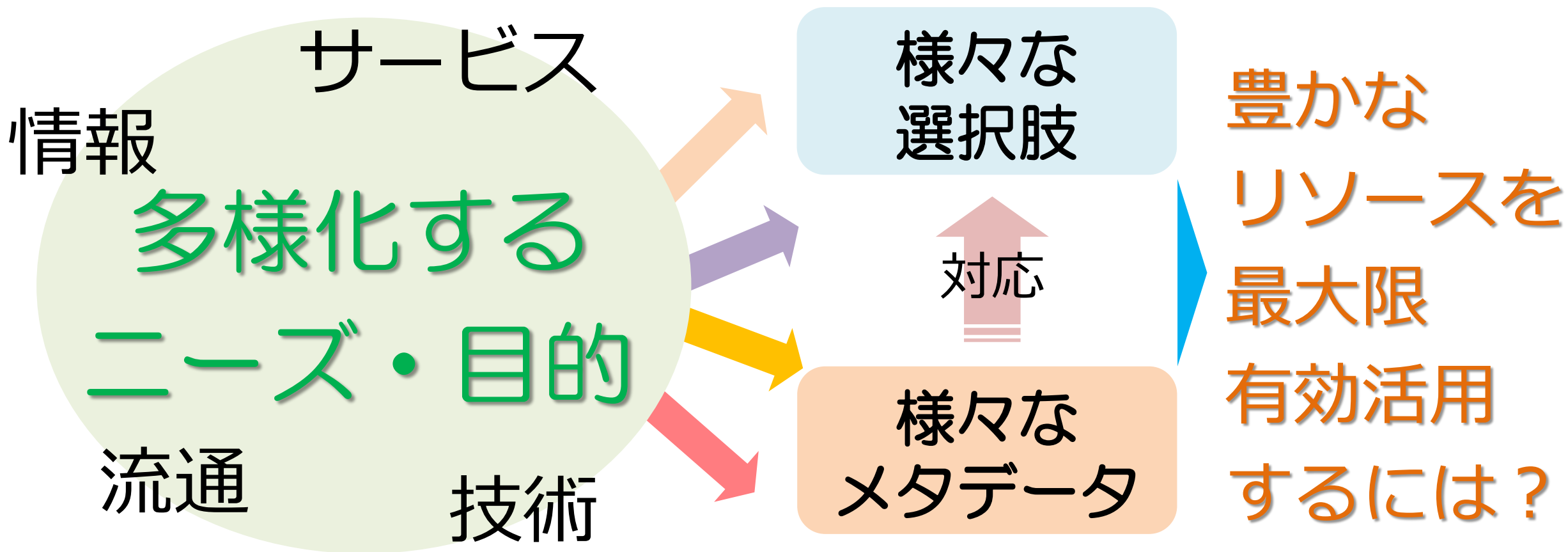
オープンデータ

—

約60DB

拡大していくメタデータ流通





メタデータ流通ガイドラインが役立つ！

set

ガイドライン作成の意味 ～これまでの動き～

- メタデータのアグリゲータを担うNII・JST・NDLによるメタデータWGの立ち上げ
- メタデータ流通ガイドラインの公開

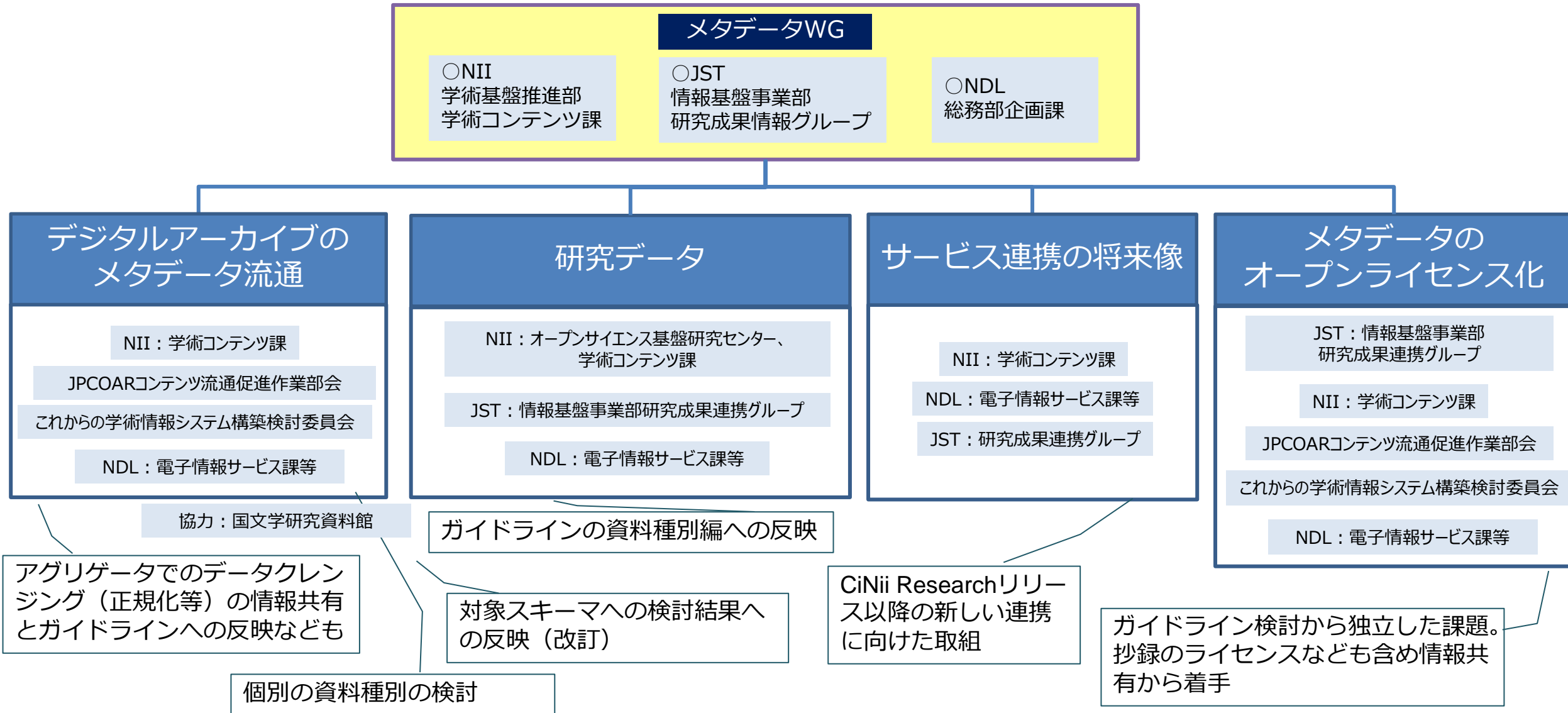


1つの機関だけが担う「基盤」から
複数機関が**協同**する「**共通基盤**」へ

厳格なルール決めではなく
ゆるやかな標準化としての「ガイドライン」

柔軟な運用

様々な規則や実績を
広く「今」の流通に活かすための
選択肢を提示できる



既存のルール、方針
多様化する技術

メタデータ
の必要項目
求められる
ニーズ

様々な
コミュニティ
拡大する流通経路

様々な選択肢や変化を柔軟に取り込むことで
個別のメリットを実現可能

ただし！
人手が介在→提供の最適化
が不可欠！！

ガイドライン

共通基盤

- ✓ **様々なコミュニティ** : 公共図書館？ 学術機関？ 専門図書館？
 - ✓ **求められるニーズ** : より早く効率的な連携・利用のためには？
- ✓ **メタデータの必要項目** : デジタルアーカイブに必要な項目は？
 - ✓ **既存のルール** : NCRへの準拠、様々なスキーマ、何を選択すれば？？

ガイドライン

共通基盤

！ 様々なコミュニティ：各コミュニティに応じた流通経路を整理

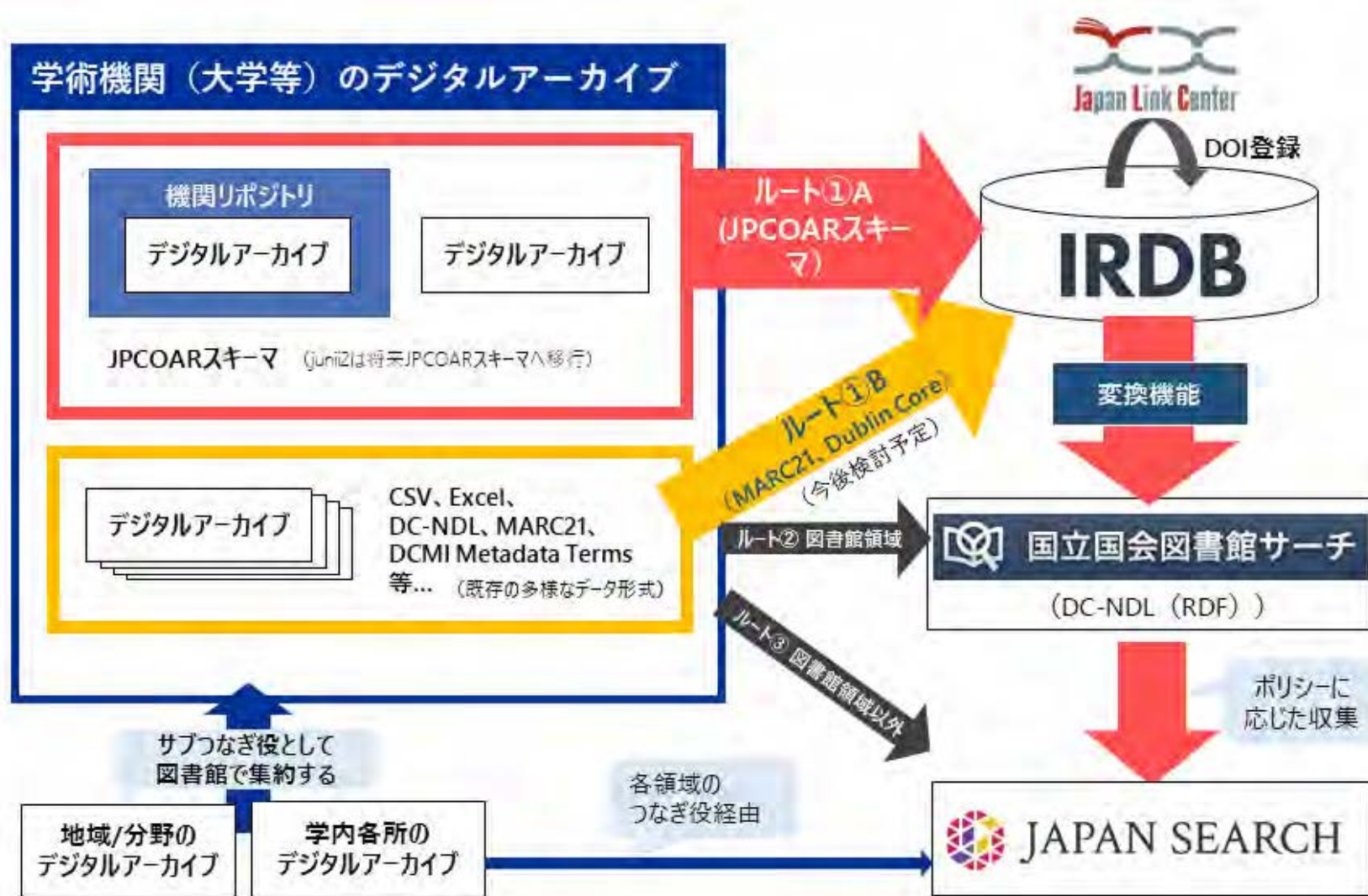
！ 求められるニーズ：複数の流通経路を用意し選択肢を可視化

！ メタデータの必要項目：流通のメリットをふまえた推奨度の設定

！ 既存のルール：スキーマ間の互換性を整備

ガイドライン

共通基盤



https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_attached/#3

11. コンテンツ

項番	項目名	推奨度	DC-NDL (RDF)	JPCOARスキーマ	その他
11-1	IIIFマニフェスト	推奨	rdfs:seeAlso rdf:type="http://iiif.io/api/presentation/2#Manifest"/	[jpcoar:URI objectType = seeAlso IIIFother]	
11-2	サムネイル	強く推奨	資料のサムネイル画像URL : foaf:thumbnail	jpcoar:URI objectType = thumbnail thumbnail	
11-3	本文情報 (一次資料)	推奨	一次資料へのリンクURL : owl:sameAs	jpcoar:URI objectType = sameAs fulltext	

コンテンツに関する各種情報は、メタデータ流通の過程においてコンテンツの発見可能性を高めるため重要です。

9-1. ライセンス情報

項目名	推奨度	DC-NDL (RDF)	JPCOARスキーマ	その他
ライセンス情報	強く推奨	[license]	dc:rights	license

流通のポイント

ライセンス情報の記録は、汎用的な形式で出力いただくと利便性が高まります。

CC0	https://creativecommons.org/publicdomain/zero/1.0/deed.ja
PDM (パブリックドメイン)	https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/deed.ja
CC BY (表示)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja

権利区分の種類について以下のようなページも参照ください。

- 参考) ジャパンサーチ デジタルコンテンツの二次利用条件表示について
<https://jpsearch.go.jp/policy/available-rights-statements>

メタデータのライセンス情報は、流通上必須の項目であり、原則CC0と設定されることが推奨されます。

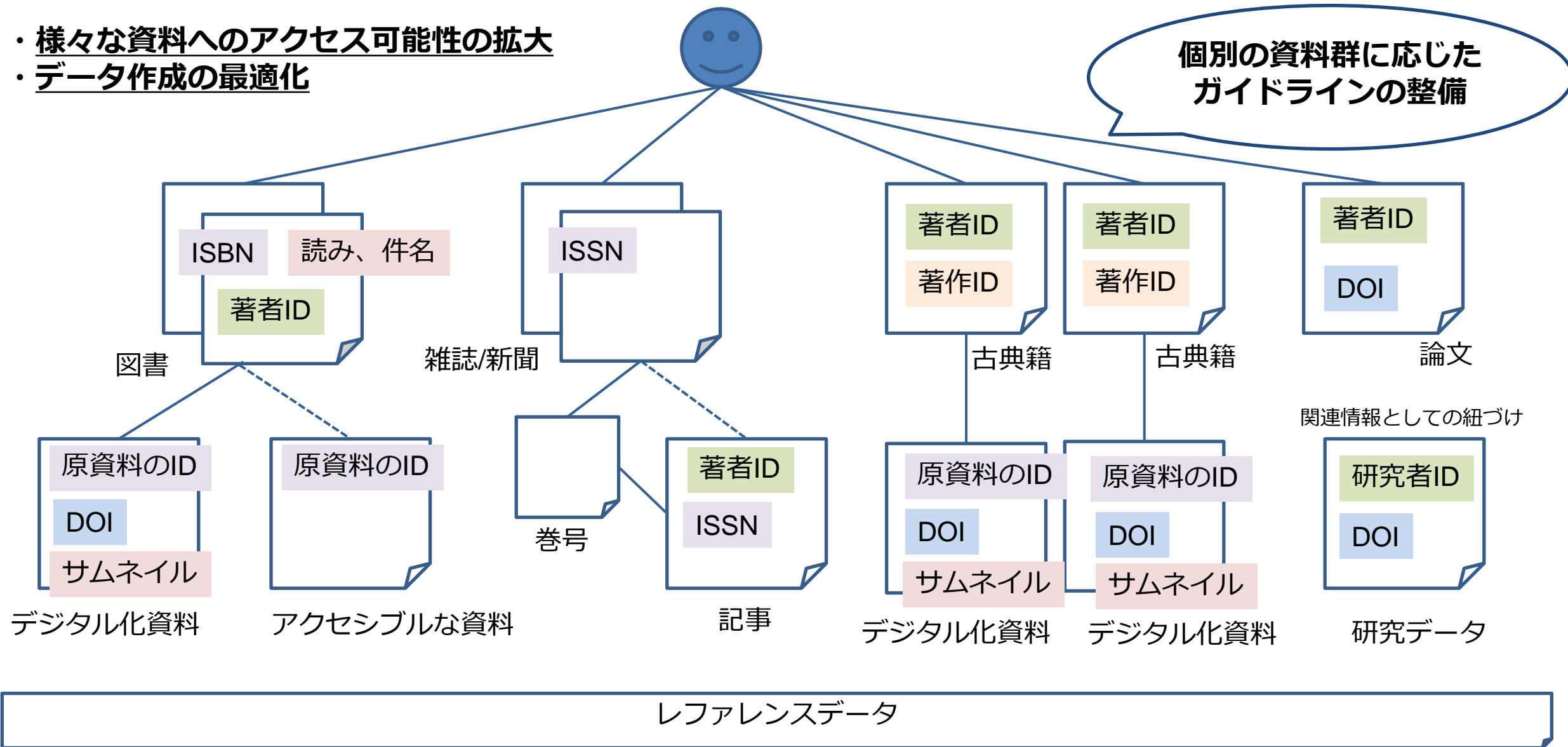
メタデータのオープンなライセンスは直接のメタデータ連携機関だけでなくその先のすべての利用者に対して利用の可能性を開くものです。ライセンスが付与されていない、または、ライセンスがオープンではない場合、メタデータの利用は直接のメタデータ連携機関に限られるものとなり、メタデータの利活用につながりません。仮にメタデータをオープンデータにできない場合でも、利用者のためには何らかのライセンス情報を付与することが推奨されます。

コンテンツのライセンス情報についても、情報資源の利用を促進する観点から付与することが推奨されます。

スキーマに依らない、メタデータ流通における考慮点などを記載。

既存の基準やガイドラインなどにそって案内していくことも意識。

- 様々な資料へのアクセス可能性の拡大
- データ作成の最適化



Ready

個別ガイドラインの整備

JPCOARスキーマ改訂

「研究データ編」公開

「古典籍編」公開

JPCOARスキーマVersion 2.0を正式公開しました

2022年10月31日～11月25日に実施しましたJPCOARスキーマVersion 2.0（ドラフト版）に関する意見募集では貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見について検討の上、一部の要素名や説明等を修正し、このたびJPCOARスキーマVersion 2.0として正式に公開しましたので、ご報告いたします。

ドラフト版からの変更点等については、2023年1月24日に実施予定の第16回月刊JPCOARにてご紹介する予定です。今回、Version 2.0として取り入れることが難しかったご意見につきましては、引き続きの検討課題とさせていただきますので、ご了承ください。

なお、主題の注意点における「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究分野（主）」、助成機関識別子の注意点における「主な助成機関識別子」の参照先のページは現在準備中です。

1. JPCOARスキーマVersion 2.0

JPCOARスキーマガイドラインサイト（バージョンが「2.0」のもの）
<https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/schema>

XMLスキーマ定義および項目一覧（Excel／PDF）
<https://github.com/JPCOAR/schema/tree/master/2.0>

2. 今後のスケジュール（予定）

2023年1月24日 第16回月刊JPCOAR（JPCOARスキーマVersion 2.0の公開）
2023年1月～3月 IRDB、JAIRO Cloud（WEKO3）システム改修（リリース時期調整中）
2023年1月～3月 DOIガイドラインの修正

メタデータ流通ガイドライン：研究データ編

[はじめに](#) | [共通編](#) | [研究データ編](#) | [古典籍編](#) | [別紙](#) | [説明会・報告書類](#) | [お問い合わせ](#)

本ガイドライン「研究データ編」では、主に「研究データ」のメタデータにおいて採用される項目を説明します。どの資料種別でも共通的に採用される項目は、「共通編」で説明されており、「研究データ編」（本資料）の一編と重複しています。

目次

- 「研究データ編」について（2023年3月30日公開）
 - 「研究データ編」で扱う資料
 - 「研究データ編」における注意事項
- 項目説明（2023年3月30日公開）
 - 項目一覧
 - 助成情報
 - データNo
 - データの名称
 - 掲載日・掲載更新日
 - データの説明
 - データの分野
 - データ種別、データ量
 - データの提供方針
 - リポジトリ情報
 - データ作成者

メタデータ流通ガイドライン：古典籍編

[はじめに](#) | [共通編](#) | [研究データ編](#) | [古典籍編](#) | [別紙](#) | [説明会・報告書類](#) | [お問い合わせ](#)

本ガイドライン「古典籍編」では、主に「和古書」のメタデータにおいて採用される項目を説明します。どの資料種別でも共通的に採用される項目は、「共通編」で説明されており、「古典籍編」（本資料）の一部項目は、「共通編」と重複しています。

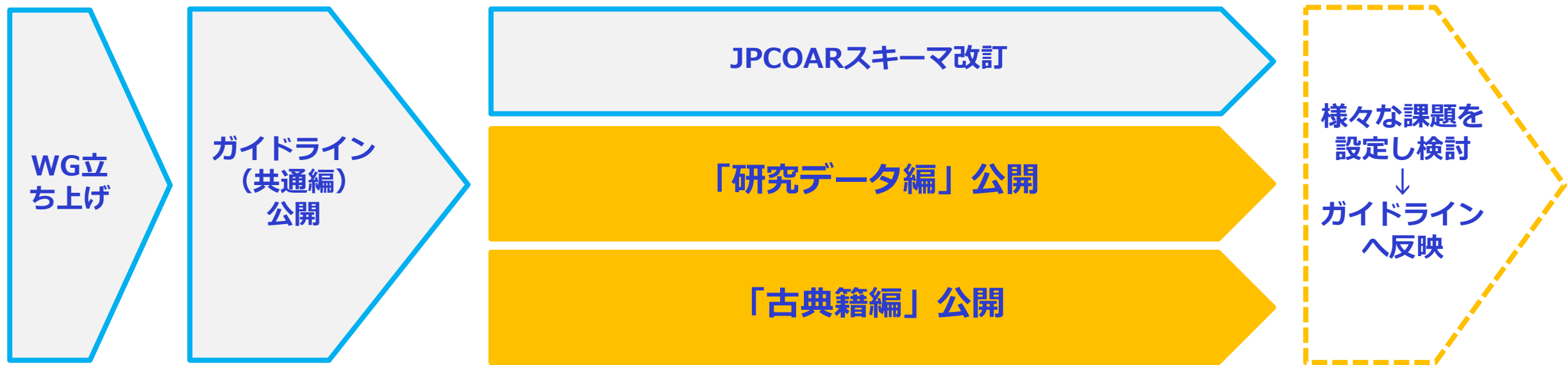
目次

- 「古典籍編」について（2023年6月19日公開）
 - 「古典籍編」で扱う資料
 - 「古典籍編」の目的
 - 「古典籍編」の構成
 - 古典籍のメタデータ
 - 古典籍に関わる情報の活用
- 項目説明（2023年6月19日公開）
 - 書誌
 - タイトル（2023年6月19日公開）
 - 作成者（2023年6月19日公開）
 - 出版・提供（2023年6月19日公開）
 - 日付（2023年6月19日公開）
 - 主題（2023年6月19日公開）
 - 内容・注記（2023年6月19日公開）

<https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/news/2022-12-21>

https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_researchdata/

https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_classic/



デジタルアーカイブのメタデータ流通

- NII : 学術コンテンツ課
- JPCOARコンテンツ流通促進作業部会
- これからの学術情報システム構築検討委員会
- NDL : 電子情報サービス課等

協力 : 国文学研究資料館

研究データ

- NII : オープンサイエンス基盤研究センター、学術コンテンツ課
- JST : 情報基盤事業部研究成果連携グループ
- NDL : 電子情報サービス課等

サービス連携の将来像

- NII : 学術コンテンツ課
- NDL : 電子情報サービス課等
- JST : 研究成果連携グループ

メタデータのオープンライセンス化

- JST : 情報基盤事業部研究成果連携グループ
- NII : 学術コンテンツ課
- JPCOARコンテンツ流通促進作業部会
- これからの学術情報システム構築検討委員会
- NDL : 電子情報サービス課等

Go !